

令和 5 年度事業報告書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日まで

公益財団法人 あいである

事業実施の概要

本年度「実家便TM」事業は、6 月発送分として前年度からの継続支援 509 個に加え、新規として 220 個の募集を行い審査の上 222 個を発送した。

「お金の管理に関するレクチャー」事業は、6 団体の募集を行い、4 施設からの応募があり対面でのレクチャーを実施した。

これら支援事業の支えとなる経常収益は、受取寄付金 ¥ 20,552,436 をはじめとして、賛助会費 ¥ 650,000、公益財団法人お金をまわそう基金からの助成金 ¥ 670,851、利息を含め、¥ 21,873,314 であった。また、実家便支援について、フードバンクからの商品提供はコロナ禍の影響もあり貧困家庭等への支援強化により他へ分散する傾向が強いが、協賛企業からの支援によって内容物の充実を図ることができた。一方で、物価高騰の影響を受け一部商品で購入価格の値上げ、宅配料金の値上げがあり、今後もその影響は避けられないこととして注視している。

平成 28 年児童福祉法改正を受けた「新しい社会的養育ビジョン」で施設退所者へのアフターケアの強化が明示され児童養護施設に自立支援担当職員の配置が進む中で、「実家便」事業は、各児童養護施設による自立支援プログラムのひとつとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。また、「実家便」を利用した施設職員からの情報共有などによって新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。

「お金の管理」に関するレクチャーは、児童養護施設での生活の中では持ちにくい家計費を管理するという概念にゲームを通して触れることができるよう、ゲームの進行の仕方などを施設職員にレクチャーを行い、各施設にて子どもたちとお金の管理について学ぶ機会を持ってもらうことを推奨している。レクチャーの意義や進行の仕方などを紹介する動画をレクチャー訪問の前に当該施設に配布し事前に見てもらうことを推奨し、レクチャーへの理解が深まるよう対応を取っている。

マネークリップは、お金の管理を体験するツールであるとともに、座学ではないゲーム形式が子どもにも受け

入れやすく、多様なレクチャーカードを用意したことで、社会生活の中で起こりうるトラブル例の説明や、社会生活に必要なコミュニケーションの仕方を学ぶツールにもなるとの評価を、レクチャー実施施設からの報告として受けている。施設退所後の生活やお金にまつわる注意事項など、施設職員から子どもに伝えたいことは多くあるが、言葉では伝えきれないところを補完する役割も、マネークリップが持つことができている。施設を訪問してのレクチャーは地道な活動であるが、施設での支援ニーズの把握にもつながることもあり、今後も同様の形式でレクチャーを行っていく。

おこづかいれんしゅうレクチャーの実施について、レクチャーで使用するツールを見てもらい施設職員へのヒアリングを継続しているが、各施設とも、レクチャーを受ける対象者によってニーズは異なるので、マネークリップ、おこづかいれんしゅう両方のレクチャーツールを一緒に提供して欲しいとの要望である。レクチャーの対象者を年齢で区切るのではなく、施設退所後の就労や住まい、施設退所に向けたアルバイト代からの貯金、施設措置の中でのおこづかいの管理など、対象者のニーズに合わせて、施設側でツールを使い分けできるようにしたいとのことであり、来期事業から反映させていくこととする。

引き続き現状の課題を意識し、公益目的事業を効果的・効率的に実施し、財団設立の目的を果たすべく次年度の事業につないで参ります。

1. 社会的養護出身者への自立支援に資する事業【実家便】

(1) 応募状況

新規分として、220 個の募集を行った。

前年同様 H P に募集案内を掲載したところ 231 名の応募があった。

(2) 選考内容

・受付後、書類審査

支援施設 90

申請人数 231

決定 222

決定外 9・・・退所年月が対象外 2、他の福祉サービス受けている 3、連絡不能 1、

募集終了後の申請 3

(3) 支援状況

1. 6 月は、新規 222 名、継続 509 名あてに合計 731 個を発送した。12 月は、19 名が

生活環境の変化などにより支援辞退となり、712 個の発送となった。施設へ送付 318、本人に直送 1,125。今期で 110 名は支援終了となった。

2.社会的養護児童への自立支援に資する事業【お金の管理に関するレクチャー】

(1) 応募状況

新規 6 施設の募集を行い、4 施設から申請があった。

(2) 支援状況

・4 団体に対面でのレクチャーを行った。 埼玉県：1 か所、長野県：1 か所、愛知県：2 か所

3.組織運営

開催日	名称	審議事項（主要議案抜粋）	審議結果
令和 5 年 6 月 1 日	第 1 回 理事会	(1) 第 1 号議案 令和 4 年度決算、事業報告承認の件 (2) 第 2 号議案 諮問委員選任の件 (3) 第 3 号議案 株式会社ライフフォースサポートとの利益相反取引の件 (4) 第 4 号議案 定時評議員会の開催の件 議題：第 1 号議案 令和 4 年度決算、事業報告承認の件 第 2 号議案 評議員専任の件 第 3 号議案 監事理事選任の件 第 4 号議案 理事選任の件	承認 承認 承認 承認
令和 5 年 6 月 16 日	第 1 回 評議員会	(1) 第 1 号議案 令和 4 年度決算、事業報告承認の件 (2) 第 2 号議案 評議員選任の件 (3) 第 3 号議案 監事専任の件 (4) 第 4 号議案 理事専任の件	承認 承認 承認 承認
令和 5 年 6 月 16 日	第 2 回 理事会	(1) 第 1 号議案 代表理事選任の件	承認

令和6年2月13日	第11回 諮問委員会	(1) 実家便内容物の検証 (2) 実家便報告書の検証 (3) 実家便最終支援者からの報告書検証 (4) レクチャー報告書の検証 (5) レクチャー内容の検証	承認 承認 承認 承認 承認
令和6年3月8日	第3回 理事会	(1) 第1号議案 令和6年度事業計画及び収 支予算並びに資金調達及び 設備投資の件 (2) 第2号議案 経理規程改定承認の件	承認 承認

4. 役員等の現況（令和6年3月31日時点）

① 評議員

	氏名	区分	就任年月日	現職等
評議員	飯塚 良成	非常勤	令和3年6月18日	飯塚公認会計士税理士事務所 代表
評議員	太田 一平	非常勤	平成27年10月20日	社会福祉法人和敬会 理事長、 児童養護施設八楽児童寮 施設長
評議員	安岡 利朗	非常勤	平成27年4月1日	株式会社オールワンエージェント 代表取締役社長
評議員	若杉 千秋	非常勤	令和3年6月18日	水津正臣法律事務所 弁護士

②理事

	氏名	区分	就任年月日	現職等
理事長	木皿 昌司	常勤	平成 27 年 4 月 1 日	有限会社オー・ケイ・コーポレーション 代表取締役

理事	笠作 真一郎	非常勤	平成 27 年 4 月 1 日	株式会社オールワンエージェント 取締役
理事	下田 隆二	非常勤	平成 27 年 4 月 1 日	株式会社エス・エス・ティ 代表取締役
理事	中村 安志	非常勤	平成 28 年 8 月 26 日	日本リビング保証株式会社 事業部長
理事	羽山 倅子	常勤	平成 27 年 4 月 1 日	公益財団法人あいである 事務局長
理事	渡辺 修三	非常勤	令和元年 6 月 21 日	一般社団法人フライングエステート 代表理事
理事	三浦 保	非常勤	令和 4 年 6 月 17 日	株式会社オールワンエージェント 代表取締役副社長
理事	吉田 義夫	常勤	令和 5 年 4 月 1 日	公益財団法人あいである 事務局

③監事

	氏名	区分	就任年月日	現職等
監事	相楽 行孝	非常勤	平成 27 年 4 月 1 日	相楽行孝税理士事務所 代表

④ 諮問委員

	氏名	区分	就任年月日	現職等
諮問委員	坂本 輝子	非常勤	平成 28 年 3 月 2 日	特定非営利活動法人社会的養護で 育つ子どもたちの地位向上ネット ワーク 理事 社会福祉法人友興会 評議員 株式会社 QPC サービス 代表取締役
諮問委員	坂本 博之	非常勤	平成 28 年 3 月 2 日	こころの青空基金 代表
諮問委員	柴山 英士	非常勤	平成 28 年 3 月 2 日	前 埼玉育児院 院長
諮問委員	村井 美紀	非常勤	平成 28 年 3 月 2 日	元 東京国際大学 人間社会学部 講師、准教授

令和 5 年事業報告 附属明細書

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

令和 6 年 5 月 17 日
公益財団法人あいである